

Title	学術文献データベースの提供方法について
Author(s)	久保山, 健
Citation	
Version Type	AM
URL	https://hdl.handle.net/11094/14130
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

学術文献データベースの 提供方法について

久保山 健

大阪大学 情報推進部
情報基盤課 電子図書館班

1. はじめに

- ◆ 提供しているデータベース
- ◆ 認証方式の詳細
- ◆ 運用面について
- ◆ 「CMC Academic Portal」 経由での利用

2. 提供しているデータベース(1)

— 認証方法、利用方法ごとに —

◆ 2-1. グループ 1

- ・ ID/PW方式
- ・ Webベース あるいは

専用検索ソフトによる利用

※Webベースのものは、“CMC Academic Portal”経由で利用可能（要認証）

2. 提供しているデータベース(2)

— 認証方法、利用方法ごとに —

◆ 2-2. グループ 2

- ・ IPアドレス認証方式
- ・ Webベースのみでの利用

◆ 2-3. グループ 3

- ・ ID/PW方式
- ・ 専用検索ソフトのみでの利用

3. 認証方式の詳細 (1)

ーグループ「1」を例にー

◆ 3-1. 認証方式

- ID/PWによる認証
- IPアドレスによる認証
- 参照元URLによる認証

3. 認証方式の詳細 (2)

ーグループ「1」を例にー

◆ 3-2. 本学の場合と一般的なケース

- 大阪大学: ID/PWによる認証
- 最近の一般的なケース
 - 大学内では利用可能(実はID/PW)
 - 学外からだ、ID/PW方式

4. 運用面について

◆ 4-1. データベースの整備 全学的経費でない問題

◆ 4-2. 「申請・登録・課金」 (利用者負担) 方式

- × 学内構成員が全て利用できるわけではない
- × PW管理等の繁雑さ

5. 「CMC Academic Portal」 経由での利用 (1)

◆ 5-1. 利用方法

- DB利用についての事前登録(許可)
- “Portal”にログイン
- DB一覧にリンクが表示
- クリックすると、リバースプロキシ経由で、DB提供サイトへ

5. 「CMC Academic Portal」 経由での利用 (2)

◆ 5-1. メリット

(1) 自宅等からの利用

(2) DB用のID/PWを覚えなくてよい。
管理しなくてよい。

(3) 一覧表示

(4) どのPCでも利用可能

5. 「CMC Academic Portal」 経由での利用 (3)

◆ 5-1. デメリット

- (1) 専用検索ソフトが使えない
- (2) 専用検索ソフトのみで利用するDBは含まれない。
- (3) たまに起きる接続不可
- (4) 新しい技術等への対応

6. まとめ

- ◆「CMC Academic Portal」は、今年度末に更新予定
- ◆機能改善